

# 松原中学校ブロック 小中一貫教育構想図

本ブロック 小中一貫教育目標

R8

**地域に根ざし、豊かな人間性と未来を生きぬく力を育成する**

## 京都市学校教育の重点

**めざす子ども像**  
「伝統や文化に学び、次代と自らの未来を創造する子ども」

1. 広い視野と豊かな感性を持ち、よりよい人生やウェルビーイングな社会を創造できる。
2. 様々な学びを生かし、社会的・職業的自立を果たすことができる。
3. 多様な他者と共に生き、学び合い、人権文化の担い手となることができる。

## ブロックでめざす子ども像

- ① 場に応じた言葉づかいや行動ができる子
- ② 対話を通して、自分の意見を創り、表現できる子
- ③ 地域を大切にできる子

## 児童生徒と地域の実態

- ☆児童・生徒の様子
- ・ 全体的に落ち着いた雰囲気をもっている。
  - ・ 挨拶や言葉づかいにやや課題のある子どもがいる。
  - ・ 自分の考えや意見をもちにくい子どもがいる。
  - ・ 対話を通して、自分の考えを創りあげ、発信することが苦手な子どもがいる。
- ☆中学校区の状況
- ・ 2小学校の行政区が違う。
  - ・ 伝統文化に触れる機会が多い。
  - ・ 家庭の教育力の格差が目立つ。

指導方法の統一・・・対話を重視した、主体的な問題解決

教職員間の交流・・・合同研修・各主任会等の活性化

地域との連携・・・地域行事等への参加・学校運営協議会の充実

具体策

## 学 力 形 成

主体的に知識・技能を活用し、他者と協働する対話的な学びをする中で、自らの考えを深め、広げ、表現できる力を育成する。

## 人 格 形 成

「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場提供」「安全・安心な風土の醸成」の4つの視点を意識したカリキュラムを編成したり、授業展開を計画したりする。

## 学 校 つ づ くり

それぞれの学校力の向上を図るため、同僚性を高めるとともに、保護者・地域住民等とのつながりを深め、専門職とも連携し、多様化・複雑化する問題に丁寧に対応する。

共通実践

自ら学び 仲間と対話し よりよい自分と未来を創り出す子の育成  
～あいさついっぱい やさしさいっぱい みんなでつくる 楽しい学校～

自ら考え、つながり、挑戦する生徒を育てる  
Think - Connect - Challenge

「自ら学び 自信と誇りをもち 共に高め合う子の育成」  
～ かしこく やさしく 元気よく ～

目指す子ども像  
○主体的に考え、課題を解決しようとする子ども  
【考える子】  
○仲間を認め、対話と協力を大切にすると子ども  
【協力する子】  
○向上心とチャレンジ精神をもって粘り強く取り組む子ども  
【がんばる子】

目指す生徒像  
○自ら考え、振り返り、次に生かそうとする生徒【Think】  
○他者に対話し、折り合いをつけながら協働できる生徒【Connect】  
○失敗を恐れず挑戦し、成長し続けようとする生徒【Challenge】

目指す子ども像  
○自ら学び よく考え 学び合える子  
話をしっかりと聞き、よく考え、自分の思いを伝え合える  
○心やさしく ひとを大切にすると子ども  
心やさしく、素直で、自分も友だちも大切にすると子ども  
○明るく元気で たくましい子  
自分の体を大切に、明るく朗らか、元気でたくましい

朱雀第三小学校

松原中学校

光徳小学校

児童生徒・・・自分の大切さとともに他の人の大切さを認める。  
教職員・・・児童生徒一人一人を徹底的に大切にする。

